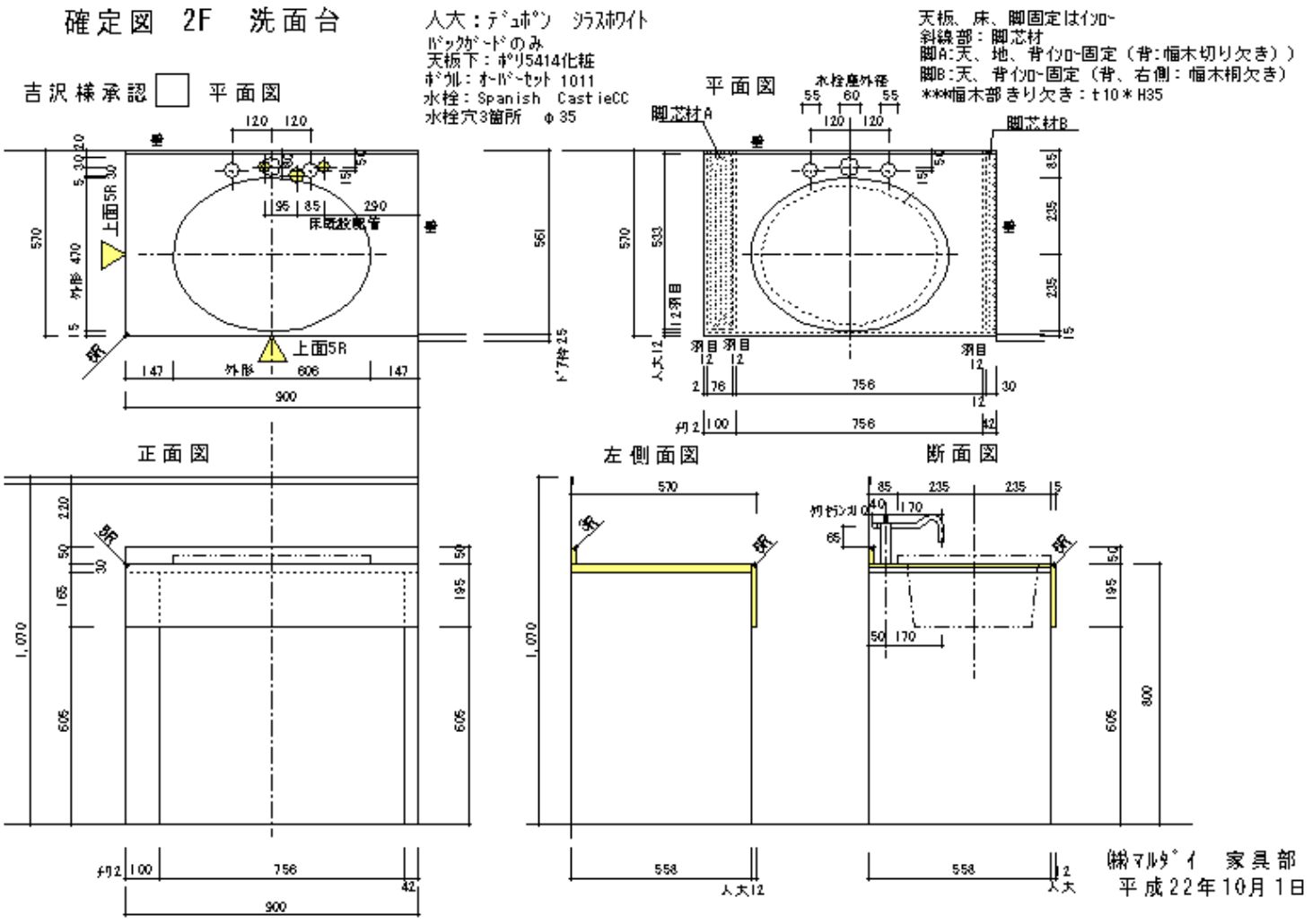
板足で受ける洗面台の製作について

今回は 1F､2F も同じ板足で受ける洗面台の製作です。板足の芯材は合板で床板、背板、天板部をインロー継ぎ手で固定し、その上に人工大理石の天板を載せて一体化するものです。そして、板足の芯材の合板に腰板と同じパイン材の羽目板を貼って仕上げとなります。また、ボウルは輸入品のオーバーセットタイプで、人工大理石の切り抜きは型紙より切り込み CAD　データを作り、人大工場に送り NC 加工してもらいました。最近、お施主様がインターネット通販よりボウル、水栓金具を購入されて支給されるケースが増えて来ています。木質のカウンターならば大工さんで穴あけが出来ますが、人工大理石の場合にはこちらに依頼があり、型紙からのデータ作り、水洗金具とボウルの収まり位置を現物より決定し、いろいろ手間が掛かる作業であります。

以下、２F,１F 洗面台を説明していきます

2F 洗面台確定図



天板用インロー接合です。
床板、背板部も同様に接合します。

合板板足の組み立て。

人大天板裏返しです。
前垂れ H195、ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ H50 一体型。
人大：デュポン　シラスホワイト

人大天板用インロー棒です。

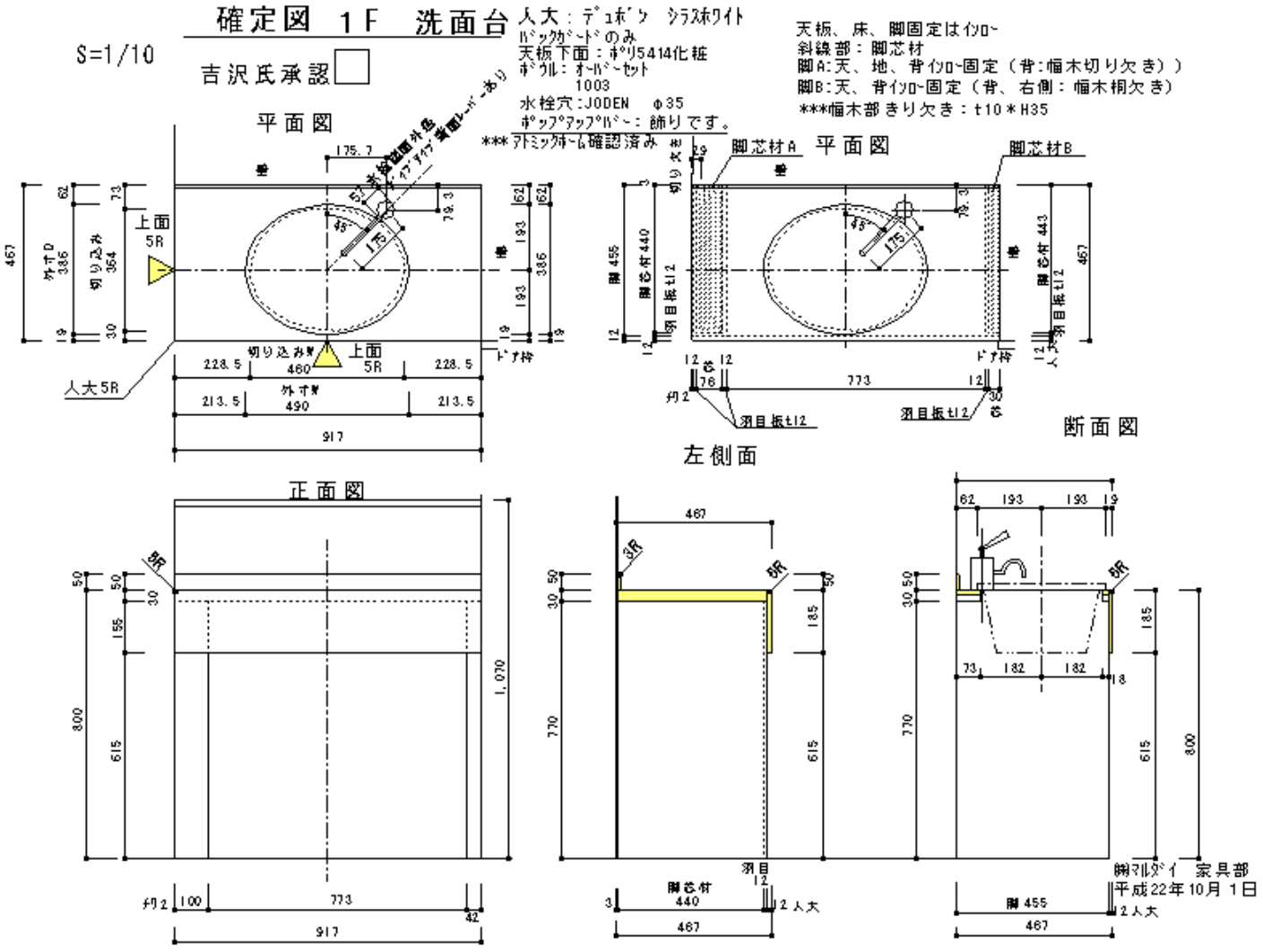
足板にパイン材の羽目板を貼り完了。

水栓金具が特殊で壁とのクリヤランスが何とか取れました。

人大前垂れでボウルを完全に隠しています。

本当はもう少し奥行きが欲しいところですが、ドア枠との収まりでこれが、限界でした。

１Ｆ洗面台　確定図



合板板足の組み立て。

パイン羽目パネル分逃げています。

人大天板セット。
ここもドア枠面と前垂れを
合わせる。

合板板足のパイン羽目パネル貼り完了。

コーナー部にうまく収まり、羽目と
一体化しました。

支給品のボウル、水栓金具が弊社に届いてからの図面確定、製作、取り付けまで、時間のない仕事で、何とかお施主様のこだわりの人大シラスホワイト、ボウル、水栓金具が収まりました。

㈱マルダイ　家具部　Da・Monde　鈴木

平成 22 年 12 月 15 日